

第7回研修会報告 研修委員長 松葉定市

今年度の研修会は、令和という新しい時代を迎えたのを機に、貸切バスを利用した熊谷近隣の施設をめぐる研修といたしました。研修先は、NHK大河ドラマや一万円札の肖像にも決まった渋沢栄一の生い立ちや業績を紹介する渋沢栄一記念館、深谷市高島にある真言宗の古刹[正傳院]、そして中島飛行機創業者の中島知久平記念館。朝から雨の降る10月25日(金)、会員17名の皆様の参加をいただき無事に研修会を実施することができました。以下、概要を報告いたします。

【渋沢栄一記念館（深谷市下手計）】

ガイド役の塚田さん（前列中央）の案内で館内を見学。大政奉還のときにはパリに居て難を逃れたなど、栄一は強運の持ち主だったこと等、様々なエピソードも交えて熱心に解説いただきました。自信をもって熱く語る姿に この仕事に対する誇りと自負が感じられました。

【正傳院（深谷市高島）】

ご住職の板東隆秀さんは、深谷市文化財保護審議会会長であり、熊谷市史編さん室の特別調査員も務められるなど、文化財に大変造詣の深い方です。様々な資料を準備いただき、山号の『瑠璃山』のことや横浜港の開港建設を請け負った深谷市高島出身の笹井万太郎のこと、ご自身でまとめられた泰明小学校学童疎開の記録等々について、お話いただきました。先生は画家の大野百樹さんなど多くの方との交友があり、人柄がしのべれます。疑問に思ったことはとことん突き詰めるという姿勢も見習いたいと思いました。

【旧中島家住宅（太田市尾島）】

3箇所目の研修先は、中島飛行機（株）の創設者である中島知久平が両親のために築いた邸宅です。平成28年に重文の指定を受けました。一万㎡という広大な敷地に広がる近代和風の大規模邸宅。重厚な車寄、ステンドグラス等、豪華な装飾が施された応接間など、財力はむろん、こうした建物を作り上げた職人の技に改めて感心いたしました。現在は、太田市地域交流センターとして利用されています。

